

2020. 7. 31

岐阜県新型コロナウイルス対策本部

「第2波非常事態」に対する緊急対策（抜粋）

1. 「第2波非常事態」

○「第2波」が到来

- ・「PCR検査陽性率」急増。

○「愛知県、特に名古屋」の酒類を伴う飲食店で感染多発

- ・本県感染者の約6割が、愛知県由来。
- ・愛知県由来のうち、繁華街のクラブ等、酒類を伴う飲食店での感染者が、約7割超。

○「若者」の感染急増、「学校クラスター」の相次ぐ発生

○若者から高齢者への感染拡大の懸念

- ・高齢者に拡大すれば、急速に医療機関を圧迫。（重篤者数の増大リスク）
- ・在住外国人への感染拡大も要警戒。

○今後、人の動きの活発化

- ・8月1日から本格的な「夏休み」

2. 緊急対策（「オール岐阜」での取り組み）

（1）県民の皆様へ

○愛知県、特に名古屋での酒類を伴う飲食の回避

○学校夏休み、お盆休み対策の徹底

- ・児童生徒は、健康チェックカードによる毎日の体調管理。
- ・保護者は、児童生徒の感染防止対策の確認。
- ・締め切った場所及び多人数での懇親会やパーティー、カラオケを自粛。
- ・県をまたぐ外出、感染拡大地域、特に愛知県との往来は慎重に。

○感染防止対策の基本の徹底

- ・「人との距離確保」「マスク着用」「手洗い」。
- ・3密の場（「密閉」「密集」「密接」）の回避。
- ・毎日、体調を自己チェック、体調異常の場合は、外出ストップ。
- ・県の「感染警戒QRシステム」と政府の「接触アプリ（COCOA）」の活用

○行動指針、ガイドラインの遵守徹底

- ・感染防止対策を徹底していない店舗において、感染者が発生した場合には、感染症法等に基づく店名公表、立ち入り検査。
- ・クラスターが発生した店舗には、特措法に基づく個別の休業要請及び業界指導。
- ・「コロナ対策実行中！」ステッカーの掲示徹底と掲示店舗の利用推奨（県ホームページ、雑誌、サイトへの掲載）。